



菌根菌活性化液剤

マイコエナジー™

きんこんきん

菌根菌パワーで

栄養・水の

吸収力アップ!

収量に差がつく! 高温、干ばつに対応

こんなに違う!



未使用



マイコエナジー使用

マイコエナジー™
MYCO ENERGY

菌根菌活性化液剤
マイコエナジー
1ℓ



株式会社 ハイポネックス ジャパン

植物から抽出した新規有効成分配合!土の中の菌根菌を活性化!

特長

- 植物由来の新規有効成分で菌根菌を活性化する資材です。
- 菌根菌を活性化し、菌糸を作物の根に到達しやすくすることで作物への共生率を向上します。
- 菌根菌の共生率が向上することで土壌中の広い範囲から栄養(主にリン酸)と水分を吸収することができ、作物の増収や環境ストレス軽減効果が期待できます。
- 圃場の土壌中に存在する菌根菌に効果を発揮します。菌根菌資材と併用できます。



性状:液体

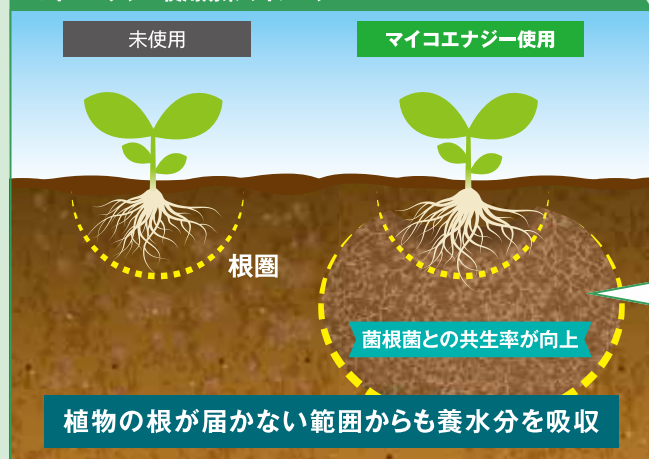


1ℓ

菌根菌とは?

4億年前から地球上に存在する、陸上植物種の約80%と共生する菌です。菌根菌は共生した植物の根から菌糸を伸ばし、植物の根が届かない範囲の水や養分を吸収し、植物に供給します。

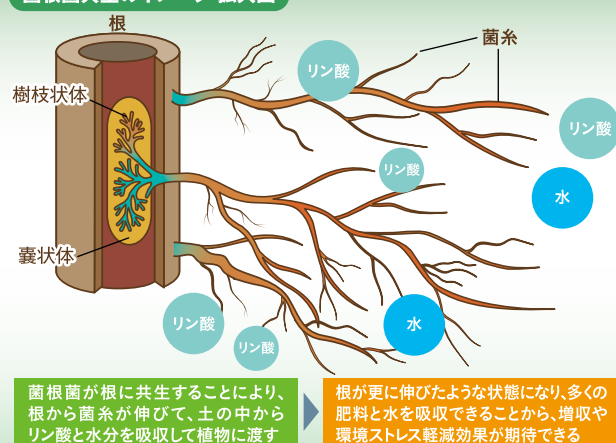
マイコエナジー使用効果のイメージ



植物は菌根菌と共生した方が栄養と水をたくさん受け取れるためメリットがあります。

【菌根菌の共生から得られる効果】 ●土壌に固定されたリン酸を吸収 ●根の届かない広範囲から水を吸収 ●微生物相のバランスを整え健全な生育を助ける など。

菌根菌共生のイメージ 拡大図



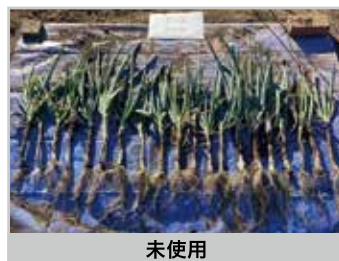
菌根菌が根に共生することにより、根から菌糸が伸びて、土の中からリン酸と水分を吸収して植物に渡す

根が更に伸びたような状態になり、多くの肥料と水を吸収できることから、増収や環境ストレス軽減効果が期待できる

施用事例

■ネギ

収穫重量が増加!



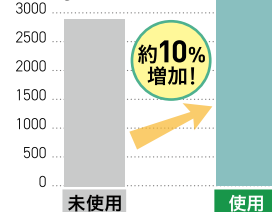
未使用



マイコエナジー使用

■平均生体重調査結果

単位:(g)



■レタス

生育初期、生育不良時や
環境ストレスが
かかる時に集中的に
施用すると効果的!



未使用



マイコエナジー使用

施用方法

作物	施用時期・方法	施用量・倍率
果菜類	定植時、定植の1ヵ月後、2ヵ月後の計3回。手水、または灌注処理	土壌灌注:0.5~1ℓ/10a
葉菜類 (アブラナ科、アカザ科除く)	定植の直前にドブ漬け、または定植後(発芽後)すぐに、手水で処理	土壌灌注:0.5~1ℓ/10a/苗床処理:1,000倍
果樹類	発芽期、1回目の処理から1ヵ月後、気温上昇期の計3回。幹から50~100cm程度の距離に輪状灌水	土壌灌注:1,000倍、0.5~1ℓ/10a
花き類(切り花)	定植時、栄養生長期、生殖生長期の計3回。手水、または灌注処理	
大豆	本葉展開時に土壌灌注	

*施用量、施用回数は目安のため栽培条件で変わることがあります。一度お試しのうえ、ご使用ください。